

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	638 基盤整備促進事業	会計	01	一般会計
		款	06	農林業費
		項	01	農業費
基本 施策	42 持続的で個性的な農林業を實踐する	目	05	土地改良事業費
		細目	312	基盤整備促進事業
		細々目	51	基盤整備促進事業
行革大綱の重点事項番号		4		
担当部課	コード	191300		担当者 氏名
	名称	産業建設部 農村整備課		
		連絡先	43 - 2304 (内線)	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	事業実施地区の農道・用排水路等の農業用施設と施設を管理する農家、農業団体 ※対象件数		
成果(どうする)	農業用施設を改良・改築することで施設の維持管理経費を軽減することができる。		
根拠法令・要綱等	伊賀市農村総合整備事業分担金徴収条例		
開始年度	平成	年度	関連事業
終了年度	平成	年度	
事業内容	H21 猪田西出地区 排水路改修工事 L=2,178m ※農業生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の効率等を促進するため、地域の実情に即したきめ細かい土地基盤の整備を行う。		
社会情勢の変化等	平成18年度から支所事業を本庁集約 平成21年度は県費予算の都合で新規採択が見送られた。 ※事業名が農用地高度利用促進事業から基盤整備促進事業に統一され交付金名が元気な地域づくり交付金から平成22年度からは農山漁村活性化プロジェクト支援交付金に変更		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	実績	目標	実績

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	実績	目標	実績
	事業採択箇所数	採択申請に対する採択地区数で比較	地区	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	直接事業費計 (A)							
	18,180	3,232	15,150					0
Aの 財源 内訳	国庫支出金	9,090	1,610	7,570				
	県支出金	1,800	320	1,500				
	地方債							
	その他	2,475	480	2,250				
	一般財源	4,815	822	3,830				0
	事業投入人件費 (B)	1.0人 7,200	1.0人 7,200	1.0人 7,200	1人			0
	フルコスト(A)+(B)	25,380	10,432	22,350				0

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
効率的性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっている。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	国・県費の補助率が高く受益者の負担金も軽く、市費負担も軽減できるので当該事業の導入を積極的に進める。また、受益者と工事設計段階からコスト削減に取り組む。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 猪田西出地区 排水路改修工事 L=127mを実施し、二箇年計画の事業を完了した。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	山内 敏
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 現基本計画に登録されている事業は計画的に進める必要がある。国・県予算の縮減により、今後は計画どおりの実施が厳しくなることも予想される。
現時点における課題、その他	当初計画のとおり事業進捗しており、特段の課題はないが、コスト縮減により事業費を圧縮して早期完了を目指す必要がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	本年度事業の実施にあたっては、工法等の工夫によりコスト削減に取り組む。